

妊婦さん向けのRSウイルスワクチン接種の開始予定について

R8年2月現在

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。乳児期に感染した場合、より重症化しやすいと言われており、特に生後6か月以内に感染した場合、細気管支炎など重症化することがあります。

妊娠中にRSウイルスワクチンを接種することで、RSウイルスに対する抗体が胎盤を通じてお母さんの体からお腹の赤ちゃんへ移行し、生まれた直後からRSウイルスの感染や重症化を予防します。

<ワクチン接種について>

令和8年4月1日より、妊婦さん向けのRSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種となる予定です。準備が整い次第、対象者に通知します。発送は3月中旬以降の予定です。

<開始予定日>

令和8年4月1日

(令和8年3月31日までに接種される方は、定期接種の対象にはなりません。)

<対象者>

接種日時時点で、妊娠28週0日から妊娠36週6日までの方

※接種後14日以内に出生した場合、乳児における免疫の有効性は確立していません。

<料金>

無料

<回数>

妊娠ごとに1回

<接種時に必要な物>

母子健康手帳、マイナ保険証、予診票

<接種方法>

医療機関に直接予約をしてください。

※指定医療機関の一覧は、予診票と一緒に通知します。

※なお、里帰り出産などで指定医療機関以外での接種を希望される方は、接種前に手続きが必要になります。愛知県内であれば広域予防接種制度、愛知県外であれば償還払い制度となります。詳細は、蟹江町こども家庭課へご連絡ください。



【問い合わせ先】蟹江町こども家庭課（蟹江町保健センター2階）

電話 0567-94-5666